

# パルスオキシメータ ー (Spo2 モニター)

## パルスオキシメーターとは

パルス＝脈拍

オキシメーター＝酸素濃度計

⇒脈拍と酸素飽和度を測定できる

脈拍や呼吸状態をモニタリングする必要のある時に使用するモニターです。アラーム値を設定することにより、数値の異常を知らせてくれます。

酸素濃度の調整や吸引のタイミング、全身状態の観察の目安となります。



図 1 パルスオキシメーター

## 1. 原理

プローベの発光部から 2 種類の赤い光をだし、受光部で量の変化を感知することで、末梢の動脈内にどれだけ酸素が含まれた血液が流れているのかを測定できます。

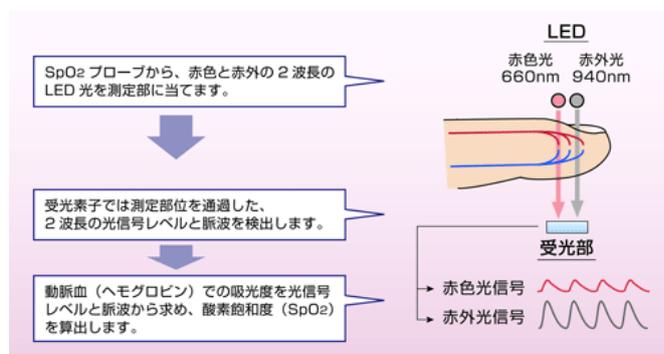


図 2 測定方法の原理

## 2. センサー装着方法

- 1) 足の甲や指先に、発光部と受光部が対になるように巻きます。きつく巻きすぎると、血行障害が起きてしまうので、注意しましょう。
- 2) 低温やけどの危険性があるので、食事や入浴時など、**最低でも 8 時間ごとにモニターの巻き替えを行ってください。**
- 3) モニターを巻き替えるときは、装着していた皮膚の状態を観察しましょう。また、皮膚に異常がある場所は避けて装着してください。
- 4) センサーの粘着力が弱くはがれてしまうときは、テープや自着性の包帯で止めましょう。

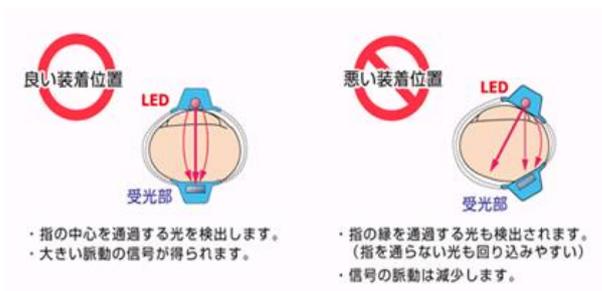


図 3 装着方法

**生命監視装置ではありません。**

呼吸状態や全身状態の目安となるものです。センサーの巻き方や体動などにより数値は変動しやすいです。**モニターの数値だけではなく、顔色や機嫌、その他の全身を目や耳などで直接観察しましょう。**





「こんな時は・・・」



### うまく測定できない、数値がおかしい

- 1) 発光部と受光部は向き合っていますか？  
強く巻きすぎていませんか？センサーを巻きなおしてみましょう。
- 2) 泣いているときや動きが激しいときには  
うまく測定できません。落ち着かせて再測定  
しましょう。
- 3) 日光などの強い光があると、測定できませ  
ん。靴下などで外界の光を隔ててください。
- 4) センサーを巻いている手足が冷たいときや、  
センサーより中枢（心臓に近い側）にゴムな  
どで圧迫されている部分がありませんか？  
循環が悪いとうまく測定できません。
- 5) センサーの発光部は光っていますか？チカ  
チカしているときや光っていないときは  
センサーの断線が考えられます。センサーを  
交換してみましょう。

モニターの数値や全身状態がいつもと違う時  
は受診しましょう。

モニターが異常なときは、モニターを管理して  
いる会社の緊急時連絡先に連絡しましょう。

### 低温やけどがおきてしまった。皮膚がかぶれ てしまった

巻き替える間隔を短くしてみましょう。

皮膚のかぶれが治らない場合は皮膚科を受診  
してください。

### モニターの設定値を変更したい

医師の指示が必要です。アラームが頻回に鳴る  
場合は、主治医に相談してください。